



目次

- ますますげんき教室(2面)
- みんなの健康(3面)
- 平成28年度決算の概要(4・5面)
- ざまインフォメーション(6・7面)
- 市職員募集(8面)



市民を守る消防士

消防士は、災害や病気、事故などから私たちを守るために、消火活動、人命救助、傷病者搬送など専門の部隊に分かれています。各部隊では、いざというときに備えて、日頃から装備を整え、訓練を続けています。

担当

消防管理課 ☎046(256)2214 ㊚046(256)2215



発生した火災の抑圧・沈静化と人命救助を行う部隊です。火災発生時は、消火栓や防火水槽から消火水を使用し火災を最小限に抑えます。

消火技術や燃焼現象などの知識に長けており、災害現場を判断して行動し、消火後には、火災状況証拠などから出火原因の特定も行います。

火災や自然災害を想定し、日頃から放水・災害活動訓練などを続けています。また、迅速に現場へたどり着けるように、消防車の通過できる道の把握に努めています。



災害現場での人命救助などを行う部隊です。火災・交通事故・水難事故現場など、人命に関わるあらゆる災害で救助活動を行います。

破壊や重量物排除を行うために切断器具やクレーンなどの装備を整えています。

資機材や救助技術などの知識に長けており、さまざまな機関と連携して救助に当たります。

火災やさまざまな事故を想定し、日頃から火災時の救助や車からの救出、水難救助などの訓練を続けています。



通報を受けて迅速に現場に駆けつけ、必要があれば、けが人や急病人に応急処置を施し、医療機関に搬送します。

救急車には、応急処置や速やかな搬送を行うために医療機器や各種担架などの装備を整えています。

体の仕組みや病状などの知識に長けており、重症度を現場で判断して行動に移します。

心肺停止や重症外傷などを想定し、日頃から救命処置や搬送方法などの訓練を続けています。

市民や隊員の命を守るため、活動現場で確実に機能を発揮するように、車両から資機材、被服まで実際に動作・着用して点検します。

点検



さまざまな活動現場を想定し、被服、資機材などの装備を整え、資機材の多い救助隊は、約200種類の資機材を持って出動します。同じ活動現場でも被害や汚染の程度に合わせて、さまざまな種類の装備があります。

装備



日々の体力づくりだけでなく、活動現場での確かな行動ができるように、実際の災害を想定した訓練を繰り返します。必要に応じて、関係機関と連携した訓練も行います。訓練では、個々の特性を確認し、チームワークを作り上げます。また、コミュニケーションを大切に、メンタルケアも欠かしません。

訓練



市民を守るために

希望者への「広報ざま」の戸別配布を実施中

※新聞を購読されている方には、新聞に折り込まれます。

○新規のお申し込み 申込専用電話 ☎046(252)8684 (市政戦略課)

○届かない場合 (株)神奈川新聞総合サービス ☎0120(111)429 (無料)